

ETFは世界中で約5,500本が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は2.9兆ドル（約340兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生\*\*しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流出入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流出入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

\*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。  
\*\*ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流出入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

## 2015年8月のETF資金流出入

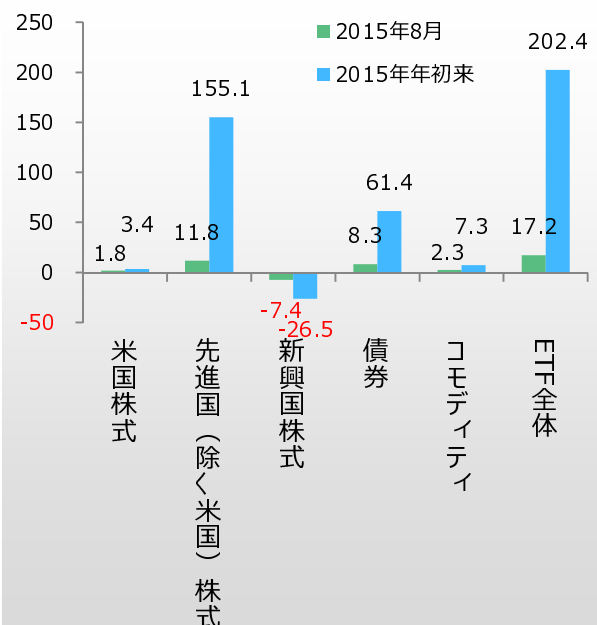
2015年8月の世界のETFの資金流出入は、172億ドル（約2.1兆円）の流入となりました。

世界経済の成長懸念や市場ボラティリティの上昇を受け、米国以外の先進国株式ETFのほか、債券ETFに資金流入が集中しました。内訳は、欧州株式ETFに62億ドル、日本株式ETFに50億ドル、米国以外の先進国株式ETFに12億ドルとなっています。

その一方で、中国の経済・物価動向の先行きに対する懸念が市場関係者の間で浮上していることで、株式市場が乱高下しており、投資家はリスク回避的な行動を取っているようです。新興国株式ETFからは74億ドルが流出しています。

債券ETFは83億ドルの資金流入がありましたが、質への逃避の流れを受けて、米国債が56億ドルを占めています。また、金ETFに4億ドルが流入しています。信用リスクが相対的に高いハイ・イールド社債ETFからは9億ドルが流出しました。

【世界のETFの資金流出入（10億ドル）】



出所：BLACKROCK GLOBAL ETP LANDSCAPE AUGUST 2015

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

## ETFから見る世界の投資家動向

図1：各市場のETFの資金流出入額

(単位：10億ドル)

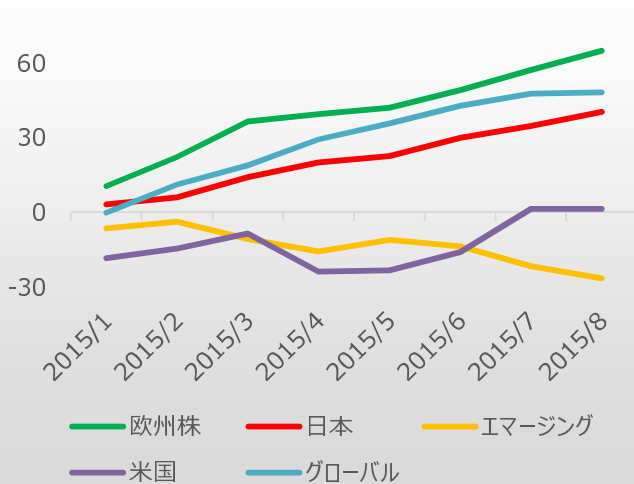
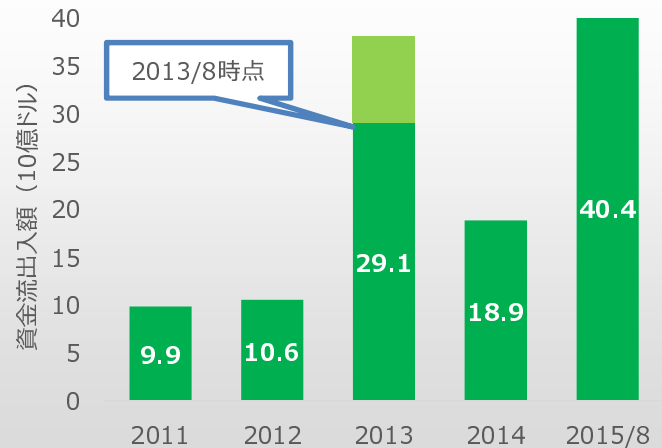


図2：日本株ETFの資金流出入額



出所：ブラックロック、ブルームバーグ

前項でも言及したように8月についても日本株ETFへの資金流入は継続しており、年初来の流入額は400億ドルに達しています。これは高水準であった2013年の流入額380億ドルを超え、過去5年で最高となっています。株価パフォーマンスで見ると、2015年初来でS&P500が4%下落する一方、日経225は8%上昇していますが、以下のような点が投資家から好材料視されていることが背景にあるようです。

- ① コーポレートガバナンス改革の進展…アベノミクスにより日本版「スチュワードシップ・コード」の導入など、改革を促す各種施策が打ち出され、企業に収益性向上を意識付けるきっかけとなった。
- ② 公的年金改革…世界最大の年金基金GPIFが中期計画の変更にて日本株の比率を従来の12%から25%へ引き上げることを発表。
- ③ 日銀の金融緩和策の継続…日銀が設定した物価上昇率2%の達成は難しい状況にあり、追加・継続的な緩和策が期待される。

改革の着実な進展が長期的な日本株上昇への必須条件の一つと考えられるものの、市場の日本株への関心度を見る上で日本株ETFの資金フローに注目したいところです。

## ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。優先株は金利上昇等により価値が減少する場合があります。また配当の支払いが保証されていません。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。不動産投資信託（REIT）への投資は経済状況の変化や信用リスク、金利変動の影響を受けます。

## 手数料、費用等について

【売買時の手数料】当ETFを売買する際の手数は取扱金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR等によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

iShares®  
by BLACKROCK®

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110（部代表） [www.blackrock.com/jp/ishares](http://www.blackrock.com/jp/ishares)  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号  
加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。